

ヒトメタニューモウイルス感染症

①ヒトメタニューモウイルス（RSウイルスに似ている）感染による気管支炎や肺炎を主な症状とする**1～3歳の幼児**の間で流行することが多い急性感染症です。

②1年中発症が確認されていますが、**3月から6月は流行のピーク**です。

③感染すると4～6日で、咳、発熱、鼻水があらわれ、悪化すると**喘息様気管支炎、細気管支炎（ゼイゼイ、ヒューヒュー）**を来たします。

④1週間程度で症状は治まります。しかし、1回の感染では免疫が獲得できません。**何度か繰り返して感染**してしまいますが、年齢が上がるにつれて徐々に免疫がつき、症状が軽くなる傾向にあります。

⑤基本的には咳、熱、鼻を楽にするための**対症療法**を行います。
水分をしっかりととり、温かくして、ゆっくりと休みましょう。

⑥熱が4日以上続く場合は、**中耳炎や細菌による肺炎**などをおこしていることがあるので、もう一度早めに受診しましょう。

⑦咳やくしゃみで吐き出されたウイルスが付いてしまったり（**飛沫感染**）、気がつかないうちにウイルスに触れてしまったり（**接触感染**）することで感染が広がります。

⑧保育園・幼稚園や学校などでの集団感染に注意する必要がありますので、**家に帰ってきたら、手洗い・うがいを徹底**しましょう。